

5 稲作を通じた後蘭孫八の郷復活

畑作農業地域

【地区概要】

1

ごらんまごはちぶたい わどまりちょう
後蘭孫八部隊 (鹿児島県和泊町)

- 沖永良部島の中央、和泊町の西端に位置する、人口約100名の後蘭集落で結成された島内随一の水田地帯を有していた本地域(または、後蘭集落)は、現在も水道の取水地であるなど水に恵まれた豊かな地である。グループ名は昔、豊かな後蘭の地で大きな権力を誇っていた有力者「孫八」に由来する。
- 高齢化や担い手不足により、活気が失われつつある集落を復活させるため、高齢者から子ども会まで参加したワークショップを開催し、活性化のための様々なアイデアを出し合った。
- 稲作の復活を中心に、着々とアイデアを実現していき、これまでになかった成果が見られるようになった。

- ・取組面積: 54.7ha (畑)
- ・資源量: 開水路 3.0km, 農道 5.7km
ため池 3箇所
- ・主な構成員: 後蘭字民(青壮年部, 婦人部
子ども育成会等)
- ・交付金: 約 236万円(R2)
農地維持支払 109万円
資源向上支払 59万円(共同)
資源向上支払 68万円(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、畑作地帯が広がっており、平成20年度から交付金事業に取り組んでいたが、草刈りや農道整備等の一般的な農地維持活動が行われているのみだった。



- 担い手が少なく、集落内の活気が失われつつある中、活性化に繋がる活動をしたという声は聞かれていたが、話し合う機会も設けられずに時間が経過していた。

取組内容

- 近年、担い手のUターンで活気づいてきたのを機に地域おこし協力隊の協力を得て、ワークショップを開催し、様々なアイデアを出し合った。
- 集落住民の意見が多く集まった「稲作の復活」を中心に子ども会と連携した様々な活動を展開



- 数十年振りに行われた収穫作業は、他地区の住民も参加し、地元新聞社やケーブルテレビの取材を受けるなど多くの注目を集める中、行われた。

取組の効果

- 稲作の復活と関連イベント、稲作に関する伝統芸能の継承活動等を通じて集落全体が活気づいている。町子ども会大会で最高賞を受賞、島内の景観コンクールでも入賞するなど活動の効果が波及している。
- 今後は、周辺小学校とも連携し、収穫体験、水田周辺の生物観察会など環境教育も計画していく。



農地周辺環境の適正管理が可能に！



稲作に付随する収穫祭や餅つき体験を通して集落の活性化に大きく寄与

きっかけ

- ・高齢化や担い手不足により農地周辺の環境の維持が課題
- ・集落全体の活性化をしたい



Step1 (H20～)

水土里サークル活動の開始

- 草刈り・農道整備等への組織的な取り組み
- 計画的な進捗管理

Step2 (H27～)

活動の多様化を目指して

- 地域おこし協力隊との連携
- 子ども～高齢者の各年代ごとに意見を集めるためにワークショップ開催

Step3 (H28～)

活動の充実化

①稲作の復活

- ・高齢者の豊富な知識や経験を活用
- ・子どもたちへ体験学習の場を提供

↓
貴重な世代間交流

②美しい集落を目指して

- ・桜200本の植樹
- ・農道周辺への植栽

↓
美しい農村を目指す

①学習発表の教材としての活用
(町子ども会で最高賞を受賞)

②農地周辺や親水公園の景観形成
(島内景観コンクールで入賞)

将来に向けて

- 酒造会社との連携で酒造り
- イベントで使用する餅やコメの提供
- 環境整備で人が集まる魅力ある集落作り

↓
集落活性化のモデルを目指して

今後の展望

Step4 (H28～)

他集落や教育機関との連携

- 集落活性化のために稲作に取り組む他集落との連携
- 学校教育と連携し、周辺集落も巻き込んだ活動の展開

↓
水田や川の周辺環境を生かす